

平成28年

創刊号

山口県倫理法人会
会報



会報「生き流」創刊によせて

山口県倫理法人会に「生き流」が創刊されました事、心よりお祝い申し上げます。

昭和59年1月、柳井市に倫理の灯がともりました。現在県下10単会で約千の事業者が倫理の勉強を一生懸命されている事に対し、改めて深く感謝と敬意を表します。人生の出会いには様々ですが、私にとって“倫理”との出会いが人生をも変えるものとなりました。入会と同時に手にした「万人幸福の栞」は素晴らしい人生の道しるべになり、この生活法則の実践によって、幸福に満ち溢れた人生になると確信しました。

「企業に倫理を、職場に心を、家庭に愛を」

何はさておき県下千人の倫友と共に、倫理の勉強ができることが何よりも幸せです。倫友の限りない幸せをお祈り申し上げます。

※会報の顔である「題字」は初代会長 藤麻功氏の筆によるものです。



山口県倫理法人会
初代会長
一般社団法人
倫理研究所 参事
藤麻 功

倫理法人会とは？

「経営者が進化しなくてどうする!？」とお互いに激を飛ばしながら、“心の経営”を目指す人々のネットワークを拡げています。社員、家族、地域社会の皆さまに貢献できますよう各種活動を行っています。

倫理を学ぶと「ひと」と「企業」が元気になる
倫理法人会に入会するメリット！

1 経営者の学びの場を得られます。

県内10カ所、経営者モーニングセミナーへの参加が自由。
※詳しくはホームページをご覧ください。

2 社員研修にも役立ちます。

毎月届く「職場の教養」を使って、社員教育を兼ねた「活力朝礼」を実践できます。朝礼指導も受けられます。

3 個人指導(無料)が受けられます。

経営に影響を及ぼす色々なこと(健康、家庭生活など)について相談を受けられます。※「倫理指導」と言います。

そのほか、会員企業として各種セミナーに参加できます。
大きく強い志を持った仲間たちと、どうぞ出会ってください！

倫理法人会 会社お悩み相談室

Q. 倫理をいくら学んでも会社が一向に良くならないのですが？

ズバット!
答えます!



一般社団法人
倫理研究所 理事
藤麻 一三

A. 「倫理の学び」とは経営者の心の勉強であり、学んだことを実践することで結果が出る勉強です。知識ばかりインプットしても、“実践”すなわちアウトプットしなければ、その正しさを実感できないのです。あなたは何を実践されていますか？実践を喜んでされていますか？

嫌々実践したのでは結果は出ません。途中でやめるのも勿体ない。実践の手掛かりは苦難です。苦難が来たら「待ってました！」と倫理の教えを積極的に実践することです。その中で、きっと何かに気づき、悟ることができます。頑張ってください。

倫理法人会は全国組織です。
国内約63,000社、山口県約1,000社の企業が入会しています。

(平成28年3月1日現在)

※倫理法人会は一般社団法人倫理研究所の法人会員によって組織された会です。倫理研究所は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律のもとで認可された民間の社会教育団体です。



お問い合わせ先



一般社団法人倫理研究所
山口県倫理法人会
YAMAGUCHI RINRI HOJINKAI

山口県倫理法人会 事務局
〒753-0064 山口県山口市神田町5-11 山口神田ビル301
TEL:083-941-6535 / FAX:083-941-6563

紙面ではお伝えきれない詳細情報は当会ホームページをご覧ください。

<http://www.rinri-yamaguchi.jp>

「なぜ今の時代に“倫理法人会の活動”が必要なのか？」

山口県知事に倫理法人会の活動を説明



今年の1月に実施した当会主催の震災復興イベント「千の音色でつなぐ絆ヴァイオリンコンサート」への後援依頼の件で、私と原田幹事長で村岡副政山口県知事を訪ねました。

村岡知事は43歳。気さくで穏やかな方で、終始和やかにお話をいただきました。県政の舵取りや手腕に大いに期待していますし、山口県倫理法人会としても色々な面でご協力させて頂ければと考えています。有難うございました。

山口県倫理法人会 会長 九内 庸志



山口県知事 村岡 副政

■プロフィール
山口県宇部市出身。趣味はジョギング、読書。
座右の銘「志を立てて、以って万事の源と為す。」

温故知新 ～ 神道と倫理 ～

神道とは誰かが創ったものではなく、我々の祖先が大切に生きてきた生き方であり、人智の及ばぬものを神と敬いつつ共生していく道の教えです。

倫理の教科書『万人幸福の栞』は、創始者丸山敏雄先生が敗戦間もなく綴られたもの。この中の七十七カ条は日本人の心が乱れていくのを憂い、生き方の道を研究して発見したと伝えられています。「発見した」ということは元々あったということ。この“人の道”、すなわち倫理が時代を越えて学び続けられるのは、創られたものでなく日本人が長い時間をかけ育んできたものだからではないでしょうか。



遠石八幡宮宮司
黒神 直大

よって神道も倫理も先祖から受け継ぎ子孫へと伝えていくべきもので、職場ではもちろん、家庭でも倫理の学びを伝えていきたいものです。

今注目!

旬な人

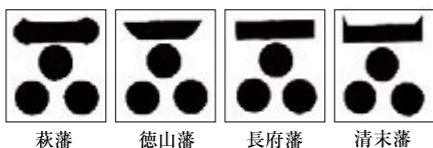


柳井市倫理法人会
幹事
カワノ工業株式会社
管理部係長
静野 邦彦さん

いつも元気いっぱい!
いつも笑顔いっぱい!
どんな頼まれ事でも笑顔でニコニコ...
気が付いたら片付けているスーパーマン
県倫理法人会の広報委員として大活躍。笑顔の伝道師です。
今日もどこかで全力投球しています。

長州雑学

毛利家の家紋は4種類ある!?



萩藩 徳山藩 長府藩 清末藩

おなじみの毛利家の家紋ですが、萩の本家と分家「支藩」では区別するため、同じ家紋でも微妙に形を変えたものを使用しています。

創刊号特別対談

「良いことは積極的に伝えていく」ここに企業が成長する鍵があると思う。

九内会長：倫理法人会に入ってきたきっかけは何だったの？

藤澤さん：ずっと人とのつながりが欲しいと思っていたところ、倫理法人会の夜のセミナーを紹介され参加し、ホームページを見てみたら良さそうな会と感じました。

九内会長：私は宇部市倫理法人会からご縁を頂いたのですが、ラジオパーソナリティの担当が木・金の朝だったので、金曜の宇部への参加は無理でした。それでホームページを調べて相談したところ、住居に近い山口市倫理法人会のモーニングセミナーが火曜ということだったので、そちらで入会することに決めました。

九内会長：よくぞいらっしやいました。ところで、倫理という言葉は人によって感じるものが違うので、良い会なのでと勧めても敬遠されることがあります。入ってみて初めて分かる学びの場です。

藤澤さん：そうですね。倫理って人によって感じ方が違うものだし、まずは会に参加してみて「倫理とは？」というものを、自分の環境の中で気づいていけば、より良く成長する自分づくりになりますよね。

九内会長：そこだと思いますよ。なぜ入会した人が続いているのかというと、会社の規模、業種、

ポジションの違いなどがあったとしても、人それぞれのメリットを実感するからなんですよ。早起きが出来ようになった、仕事のレベルが上がったとか、効果は人それぞれで、それも含めて“やってみなくちゃ分からない”。「何かよく分からなかったけど、入って良かったよ」という人が多い。それに尽きると思います。

藤澤さん：夫婦円満になったとか、会社がうまくいくようになったとか・・・

九内会長：そう。何かで「(倫理って) いいな」と思ったときにさらに極めていけるし、そういう体験をした人は、「とにかく入ってみて、入ってみたら分かるよ」という伝え方ができると思う。

藤澤さん：それでいいんでしょうね。今までこの会のことを人に言う時に「なんていけばいいんだろう？」と思っていたのですが、人それぞれのメリットがあるという実体験を伝えていけばいいんでしょうね。

九内会長：そうですね。

藤澤さん：最初は、なんで経営者の方々がこんな早朝から学んでいるのだろう？という疑問がありました。

九内会長：大部分の人は、最初は何か分からなくて入っている。ちゃんと説明を受けて納得して入っている人はほとんどいないでしょう。なぜなら、自分で体験して実感しないと分からないし、そこにこの会の意味があるのだから。一時、離れている人も多いけど、自分の意思で積極的に参加したとたんによくの実感、学びを感じる人が多いようです。私も6年間くらい足を運

びませんでした。実際に再始動した時に本当の良さを実感し会社も良くなり、今では会長という役目まで背負うことになりました。何があるか分からないものです。

藤澤さん：私も今こうやって「九内会長との対談」という縁まで頂き、本当に倫理法人会の縁はすごいな、と実感しています。一時自分の立ち位置が分からなくなった時がありましたが、諦めずに続けて良かったと思っています。不思議ですけど、仕事も人との出会いもプラスに進んでいると実感している最中なんです。

九内会長：・・・縁ですね。またここからいろんな可能性が広がるんですよ。

藤澤さん：そうですね。そうなるよう素直でいたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

九内会長：こちらこそよろしくお願いします。お互いにモーニングセミナーを中心に、倫理の和を拡げていきましょう。ありがとうございました。

藤澤さん：ありがとうございます。

創刊によせて 中国・四国方面長 ご挨拶



一般社団法人倫理研究所
法人局普及事業部
中国・四国方面長
那須 隆

貴会は平成3年、初代藤麻功会長のもと、柳井の地に倫理運動の灯が転じられ以来、県内各地の会友が実践力を錬磨しつつ地域活性化の牽引役を買って出て、仲間作りにも力を注いで頂きました。

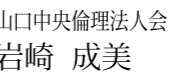
現在は県内に十の正倫理法人会を擁し、平成24年には所属会員数一千社を超え、揺るぎない県組織体制を維持しておられます。倫理法人会は「地球の安泰」こそ事業の大眼目であるとする倫理経営を、今後も積極的に推し進めます。会友諸氏を始め、未会員の方におかれましても、ご自分の得意分野や興味のあることについて、何に取り組みめるのかをともに考えて参りたいと存じます。

これまでの「持つことが幸せ」という価値観から「他者に与え、尽くことが喜び」という価値観へのシフトにチャレンジすることも、新たな文明を築くための大いなる貢献を果たせるものと深く信じているところであります。

私が倫理法人会で学んだこと

朝礼の素晴らしさを実感しました。

特に印象深かった講話をご紹介します。それは“小学生の朝礼”。元気にあいさつを練習したり、自分の夢・目標をみんなの前で話し、それをクラスの仲間たちが応援し合う。そういう朝礼を実施している小学校があるそうです。



山口中央倫理法人会
岩崎 成美

これは宇部市倫理法人会の松永会長の講話です。一日の始まりに自分の大切なことを胸に刻むことが、子どもたちに素晴らしい影響を与えており、深く感銘を受けたそうです。まるでモーニングセミナーのようですね。朝礼の素晴らしさを再認識することができました。



倫理経営講演会のご報告

「岐路に立つ～いま、求められる経営者の気骨～」

平成28年3月9日(水)、防府市倫理法人会「倫理経営講演会」を防府グランドホテルで開催。凛とした雰囲気の中、会員、一般の方合わせて161名が集まりました。

会長挨拶で始まり、濱本昭義氏の事業体験報告と、宇都一法人スーパーバイザーの講話を拝聴しました。濱本氏は、倒産と母の大病などの苦しい時期を倫理の学びと共に乗り越え、「まさに苦難は幸福の門だ」という話を実感を込めて話されました。宇都一法人スーパーバイザーからは、岐路にある今だからこそ倫理の学びから気づくこと、未来は自分の行動で変わる、“ぶれない縦軸”を持つことが大切だと教わりました。「学び即実践する」ことこそ倫理法人会で伝えたいことなのです。その後の懇親会では、おいしい料理を楽しみ、語り合い、積極的に名刺交換をするなど大いに盛り上がりしました。

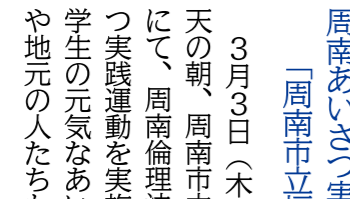
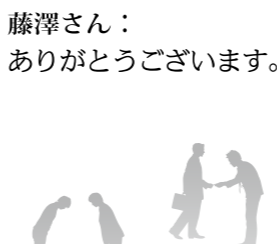
会長として初めての倫理経営講演会でしたが、多くの方のご協力により無事に開催することができました。この誌面を借りて心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

防府市倫理法人会 会長 池内 克司彦



倫理経営講演会 今後のスケジュール	
4月20日(水)	岩国市
26日(火)	山口中央
5月23日(月)	山口市
26日(木)	宇部市
28日(土)	下関市中央

お近くの方はお気軽にお越しください



3月3日(木)、清々しい晴天の朝、周南市立福川中学校前にて、周南倫理法人会のあいさつ実践運動を実施しました。中学生の元気なあいさつに、先生や地元の人たちも応え、地域の絆が強くなる姿を見ることができました。あいさつは人との交わりの第一歩ですね。



各単会ごとにモーニングセミナーの時間を有効に利用して、地域の街頭清掃を行いました。すれ違う地域の方から「ご苦労様」とお声を頂き、気持ちよく汗を流しました。

山口県倫理法人会主催
東日本復興チャリティコンサート開催
1月15日(金) 防府市地域交流センター「アスピラート」にて、陸前高田の被災木で作られたヴァイオリンを全国千力所で弾きつなぐ「千の音色でつなぐ絆ヴァイオリンコンサート」が開催されました。山口県では初めてで全国では448カ所目。演奏前には岩手県倫理法人会の又川俊三元会長が被災当時と復興状況を伝え、続いて、プロ奏者 末延麻祐子さん(古館プロジェクト所属)のヴァイオリンと池内奈津枝さんのピアノによって演奏が行われました。とても印象的なコンサートで、再び山口県で開催されると良いですね。



第7回 朝礼コンテスト開催
優勝「株式会社アデリー(柳井)」
倫理法人会では、企業の業績向上を目指して「活力朝礼」の導入を推進している。「活力朝礼」の質を高め、その良さを実感して頂くため、3月12日(土)に防府市地域交流センター「アスピラート3階音楽ホール」にて「朝礼コンテスト」を開催しました。今回も県内各単会から選ばれた10チームによって、元気よく！競い合っていたきました。一般見学者からも「感動した！」の声を頂きました。有難うございます！



地域街頭清掃活動!